

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

事業所名	グループホーム 邑久幸ホーム
日付	平成17年12月14日
評価機関名	社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会
評価調査員	病院での看護業務歴32年(内老人病棟で18年)、家族介護歴7年 病院での老人性痴呆疾患専門相談チーム員歴5年
自主評価結果を見る(事業所の自主評価結果にリンクします)	
評価項目の内容を見る(岡山県の定めた評価項目へリンクします)	
事業所のコメントを見る(評価結果に対する事業所の改善状況についてコメントがあります!)	

外部評価の結果

講評
全体を通して(特に良いと思われる点など)
<ul style="list-style-type: none"> ・JR邑久駅より徒歩5分の、利便性のよい場所に位置しています。 ・周囲の山や田園風景、外周りの菜園や花壇から、四季折々の変化を感じることができます。ホーム内は、明るく風とおしの良い、過ごしやすい環境です。 ・ホーム内や玄関先の要所に椅子を設置するなど、憩える場所づくりを工夫しており、入居者は思い思いの場所で穏やかに過ごしています。 ・ホーム長・主任・職員は、お互いにコミュニケーションがよくとれています。ホーム長・主任は、各種会議内容や、入居者の状況などを十分に把握しており、営繕・トラブル・職員からの提案事項などに対し、常に前向きに、適時に取り組み、改善・解消しています。 ・職員は、入居者に対して温かく穏やかに関わっています。何よりも入居者を大切に思い、介護していることが伝わってきました。
特に改善の余地があると思われる点
<ul style="list-style-type: none"> ・夜間のみポータブルトイレを使用している方がおられますが、日中は、前誘導により十分対応ができていますので、使用しない時間帯は片付けられてはいいかがでしょうか。 ・介護記録には、日々の様子が詳しく記載されています。他に、バイタルサインを記録するシートがありますが、このシートにはほとんど記載がありませんでした。高齢者は平熱が低い方など個人差があるので、平素を知る意味で月1~2回程度バイタルサインをチェックし、シートに記載されてはいいかがでしょうか。

運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か。		
	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者の人格を大切に、人生の先輩として尊厳をもって接するように心がけています。 ・入居者とスタッフが、ひとつの家族のように温かく触れ合うことができるホームをめざしています。 		

ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切に整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシーの保護のために取り組んでいるものは何か。		
	<ul style="list-style-type: none"> ・家族とのつながりや職員との交流を密にし、入居者の生活歴・個性・趣味を知り、生活の中で活かせるように努めています。 ・個人情報保護法の観点から、居室の表札や写真の掲示などについて家族の意見を聞き、対応しています。 ・入室時には、必ずノックをしプライバシーの保護に配慮しています。夜間巡視時の入室についても、事前に説明しています。 		

生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間づくり		
3	入居者一人ひとりにあわせた居室の環境づくり		
4	建物の外周りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か。		
	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者同士が交流し、会話を楽めるようにテーブルの配置を工夫するなど、その時々状況に応じた場づくりをしています。 ・入居前には、何回か体験入所をして、ホームに慣れていただくよう配慮しています。入居後も、入居者の好きなことをみつけて一緒に過ごし、不安の解消に努めています。帰宅願望の強い方には、一緒に外を歩くなどの関わりをしています。 ・夕日を見ると寂しくなる入居者には、その時間には1対1で過ごしたり、日暮れが分からないように早めにカーテンを閉めるなど、個別の対応を工夫しています。 		

ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。		
	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月、管理者や職員が参加して、ホーム内の問題を検討したり、勉強会を開催しています。 ・外部で開催される講習会などにもできるだけ参加し、参加後は伝達講習を開催して、講習した内容を他の職員と共有しています。サービスの質の向上に向けて、意欲的に取り組んでいます。 ・事故発生時には、原因や対策を話し合い、状況を詳しく記録に残し、再発防止に努めています。さらに、ヒヤリハットについても情報を集めて分析・検討し、事故を未然に防ぐような取り組みをされてはいいかがでしょうか。 		